

# 大谷後田遺跡・中ノ迫遺跡



大谷後田遺跡

～県営ふるさと農道緊急整備に伴う発掘調査報告書～

1999.3



中ノ迫遺跡



# 序

この報告書は、県営ふるさと農道緊急整備事業に伴い、平成7年9月から平成8年3月まで実施した大谷後田遺跡・中ノ迫遺跡の発掘調査の報告書です。

大谷後田遺跡・中ノ迫遺跡はともに縄文時代早期の遺跡で南郷町の歴史を知る上で貴重な資料になると思います。

今後、歴史の研究や学校教育・生涯学習などの場で多くの人々に活用していただき、埋蔵文化財への関心が高まり、文化財保護に対する理解を深めて頂けたら幸いです。

なお、この発掘調査にあたって多くの方々にご理解、御協力をいただきましたことに対し、心から御礼申し上げます。

平成11年3月

南郷町教育委員会  
教育長 中武 達夫

# 例 言

1. 本書は平成7年度・8年度に南郷町教育委員会が実施した、県営ふるさと農道緊急整備事業(南中講地区)に伴う大谷後田・中ノ迫遺跡の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は(故)豊福 孝が行った。
3. 本書の執筆・編集・遺物の実測・トレースは代田 博文が行った。
4. 現地での実測・写真等の記録は豊福・和田・鎌田が行った。
5. 遺構の略号は次のとおりである。  
SI=集石遺構
6. 出土土器の色調については「新版標準土色帳」を使用した。

# 本文目次

第1章 はじめに .....	6
第1節 調査に至る経緯	
第2節 調査の組織	
第2章 遺跡の位置と環境 .....	7
第3章 調査の記録 .....	8
第1節 大谷後田遺跡の調査	
第2節 中ノ迫遺跡の調査	
第4章 まとめ .....	12

# 挿図目次

第1図 遺跡位置図(1:50000) .....	7
第2図 大谷後田遺跡A区遺構分布図 .....	9
第3図 中ノ迫遺跡遺構分布図 .....	11
第4図 大谷後田遺跡B区全体図 .....	23
第5図 集石遺構実測図(1) .....	24
第6図 集石遺構実測図(2) .....	25
第7図 集石遺構実測図(3) .....	26
第8図 集石遺構実測図(4) .....	27
第9図 集石遺構実測図(5) .....	28
第10図 集石遺構実測図(6) .....	29
第11図 集石遺構実測図(7) .....	30

# 第1章 はじめに

## 第1節 調査に至る経緯

県営ふるさと農道緊急整備事業（南中構地区）は農業通作及び生産物の輸送の改善を目的とした、平成5年度から平成8年度までの予定で行われる事業である。それに伴い、平成6年度に宮崎県文化課が試掘調査を実施、縄文時代の遺構が検出され、平成7年9月より南郷町教育委員会が発掘調査を開始した。  
(平成8年3月調査終了)

## 第2節 調査の組織

### 平成7年度及び平成8年度の発掘調査

調査主体 南郷町教育委員会

教 育 長	神 恵	春 一
社会教育課長	深 田	金 好
文 化 係 長	本 田	宏 二
庶 務	坂 元	喜 代 美
調査担当(主査)	豊 福	孝(故)

### 平成10年度報告書作成

南郷町教育委員会

教 育 長	神 恵	春 一
社会教育課長	深 田	金 好
文 化 係 長	本 田	宏 二
庶 務(主査)	竹 井	み ふ 子
調査担当(主事)	代 田	博 文

## 第2章 遺跡の位置と環境

南郷町の縄文時代の遺跡は榎原地区に集中しているが、大谷後田遺跡・中ノ迫遺跡も例外ではない。大谷後田遺跡は南郷町大字榎原乙字大谷後田に所在し、その南東約300mに中ノ迫遺跡が南郷町大字榎原乙字中ノ迫に所在する。中ノ迫遺跡から南東の方角約1.2kmには縄文時代後期の崩野遺跡が所在する。

大谷後田遺跡の標高は約140m、中ノ迫遺跡の標高は約140mで両遺跡とも間に谷を挟んだ大地の先端部に位置する。南には南郷川が流れ、東に約6km行くと海に至る。

第1図 遺跡位置図(1:50000)





## 第3章 調査の記録

### 第1節 大谷後田遺跡の調査

#### 1. 基本層序

大谷後田遺跡の基本層序は次のとおりである。

I	I 黒褐色土 (Hue10YR3/1)
II	II 明黄褐色土 (Hue10YR6/8アカホヤ火山灰)
III	III 暗褐色土 (Hue10YR3/3)

#### 2. 調査区の設定及び遺構

調査区はA区(東)、B区(西)の2区を設定した。

A区の東端部の第Ⅲ層から半径約3m範囲に礫群が検出され、その中で集石遺構が3基検出された。

集石遺構はいずれも円形で大きさは一定していない。

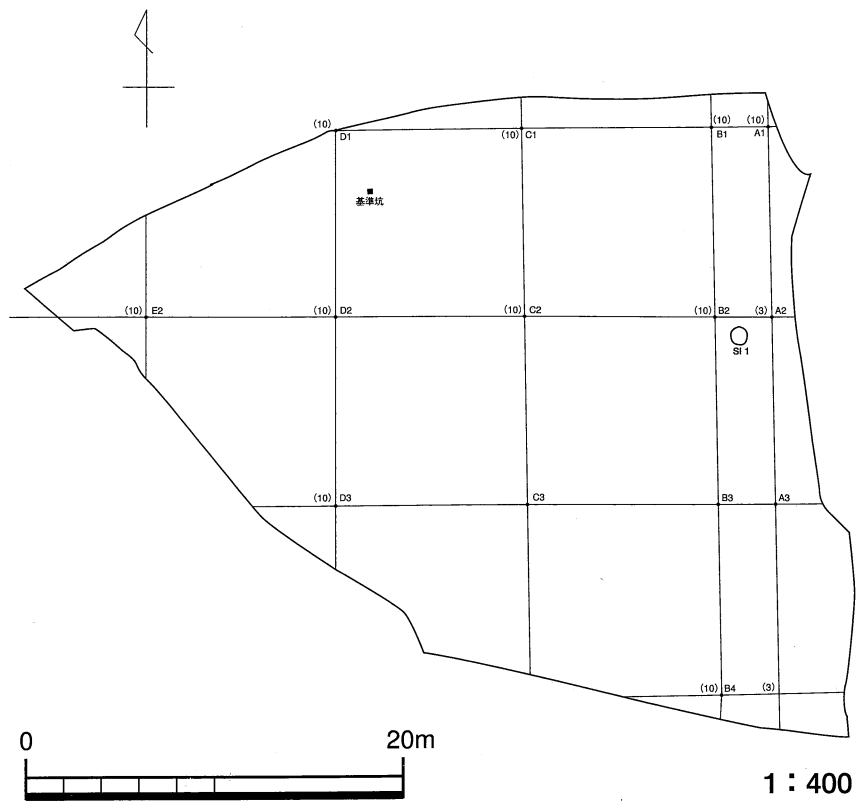
集石遺構の中からは遺物は出土しなかった。

他の遺構は検出されなかった。

#### 3. 遺物

A区の北側の第Ⅲ層より縄文土器片が出土した。いずれも貝殻条痕文を施文し、口縁部は刻み目文または刺突文をめぐらしている。底部はすべて平底で円筒形である。

第2図 大谷後田遺跡A区遺構分布図



## 第2節 中ノ迫遺跡の調査

### 1. 基本層序

中ノ迫遺跡の基本層序は次のとおりである。

I	I 黒褐色土 (Hue10YR3/1)
II	II 明黄褐色土 (Hue10YR6/8アカホヤ火山灰)
III	III 暗褐色土 (Hue10YR3/3)

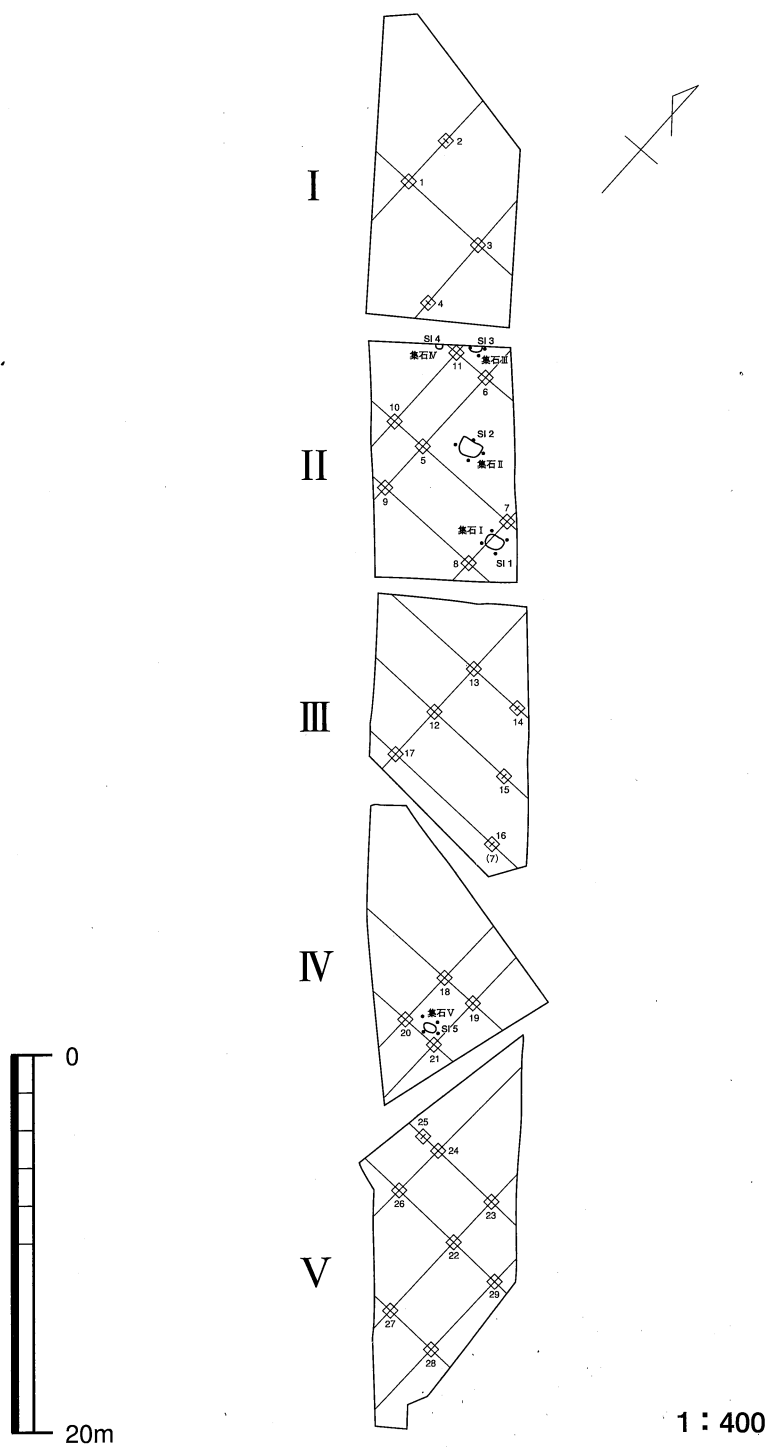
### 2. 調査区の設定及び遺構

調査区はI区II区III区IV区V区の5区を設定した。  
II区の第III層から集石遺構が4基検出された。  
IV区の第III層から集石遺構が1基検出された。  
集石遺構はいずれも円形で大きさは一定していない。  
集石遺構の中からは遺物は出土しなかった。  
他の遺構は検出されなかった。

### 3. 遺物

中ノ迫遺物では遺物は出土しなかった。

第3図 中ノ迫遺跡遺構分布図



## 第4章 まとめ

大谷後田遺跡と中ノ迫遺跡はともに集石遺構がアカホヤ下の明褐色土から検出されている。また、大谷後田遺跡からは貝殻条痕文の土器片がこれもアカホヤ下から出土しているため両遺跡はともに縄文時代早期の遺跡である。

◎ 大谷後田遺跡



大谷後田遺跡 A区



大谷後田遺跡 A区



大谷後田遺跡 A区 北側



大谷後田遺跡 B区

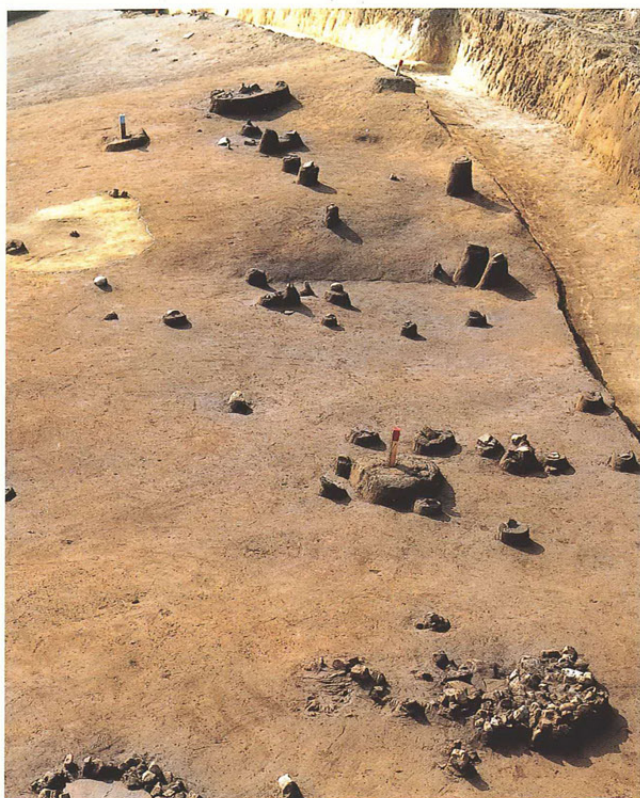


大谷後田遺跡 遺物 出土3



大谷後田遺跡 遺物 出土4





大谷後田遺跡 遺物 出土1



大谷後田遺跡 遺物 出土2



大谷後田遺跡 集石



大谷後田遺跡 集石

◎中ノ迫遺跡



中ノ迫遺跡



中ノ迫遺跡 集石



中ノ迫遺跡 集石



中ノ迫遺跡 集石



遺物 A



遺物 B



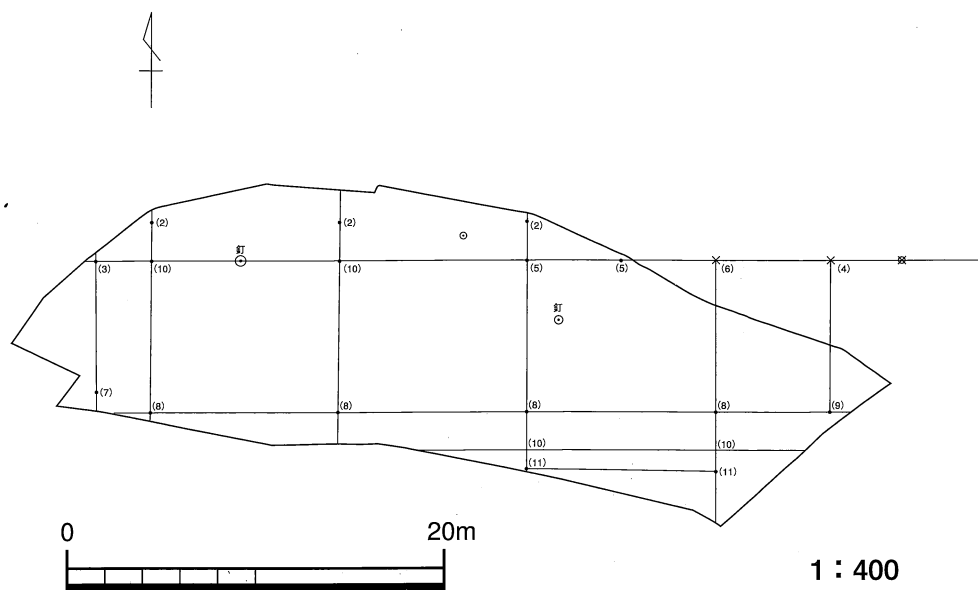
遺物C



遺物B上側



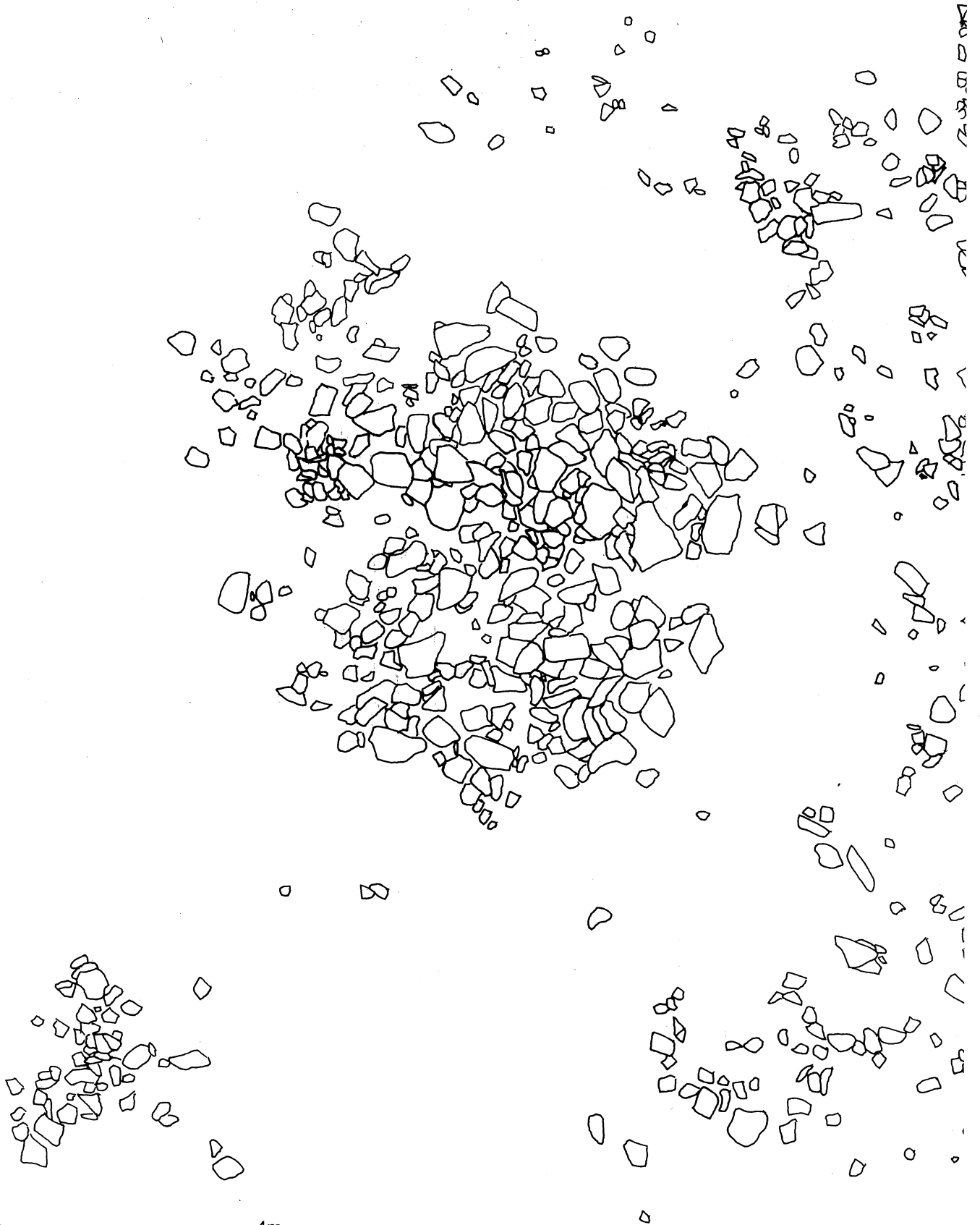
第4図 大谷後田遺跡B区全体図





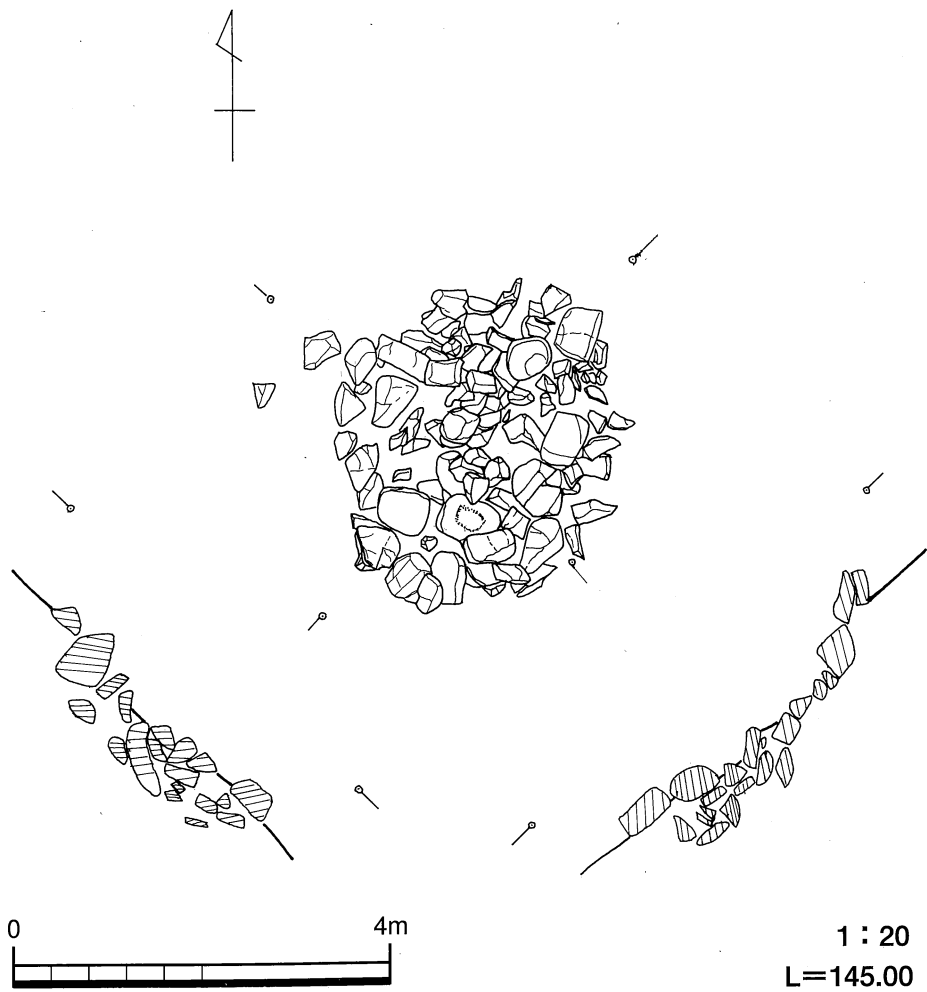
第5図 集石遺構実測図(1)

大谷後田遺跡 SI 1



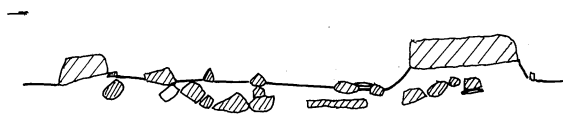
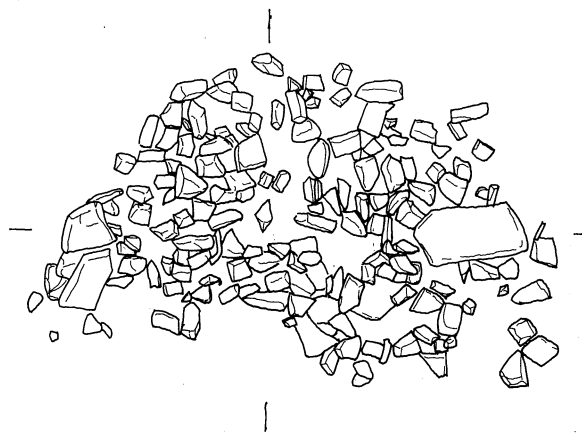
1:20

第6図 集石遺構実測図(2)  
中ノ迫遺跡 SI 1



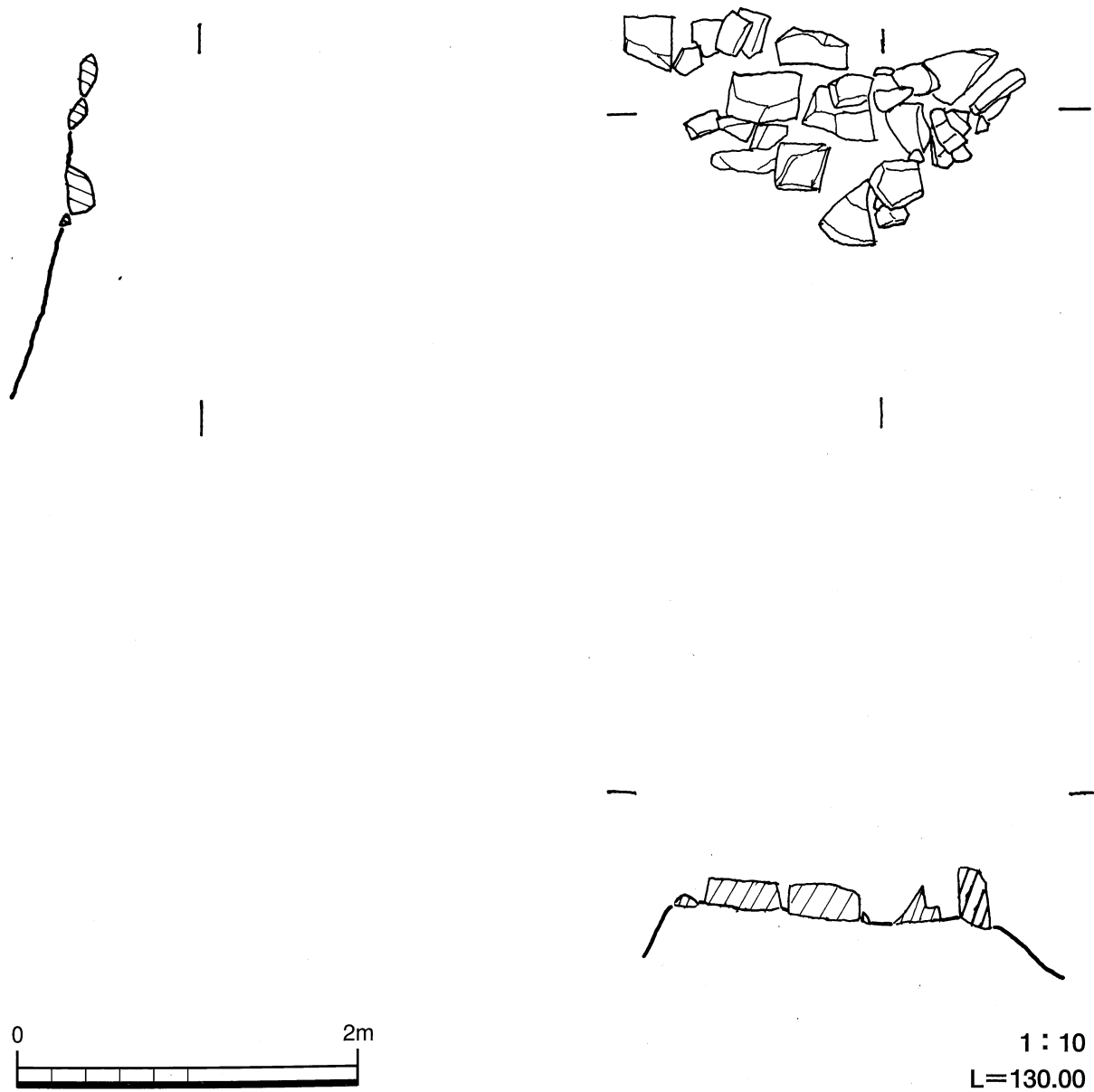
第7図 集石遺構実測図(3)

中ノ迫遺跡 SI 2



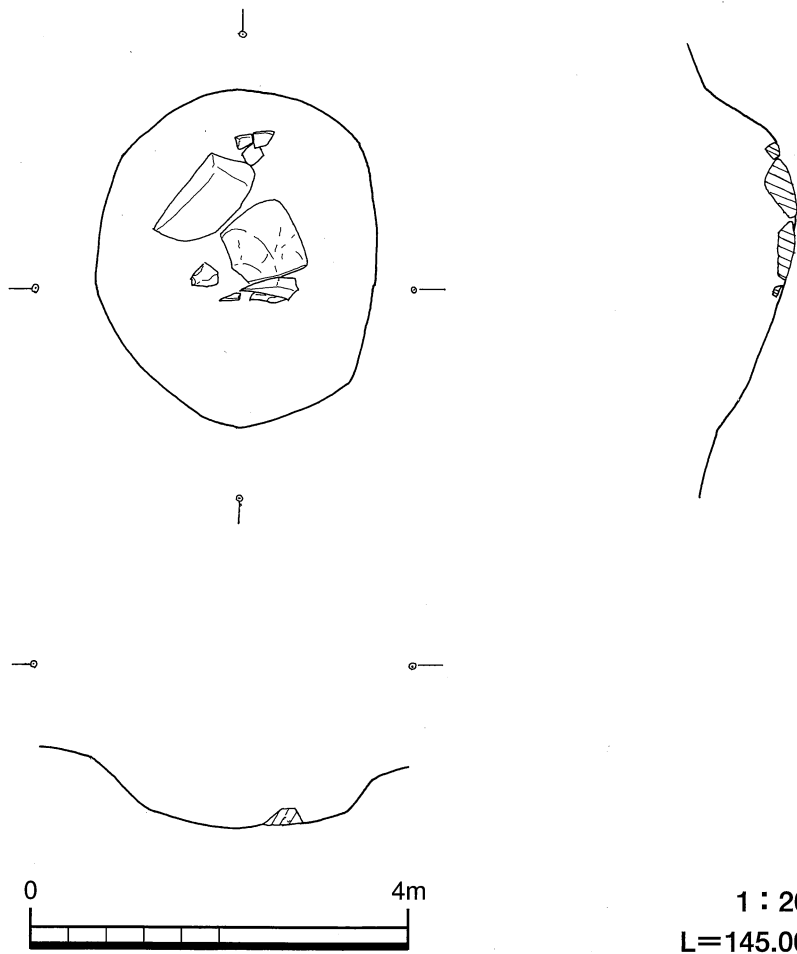
1 : 20  
L=145.00

第8図 集石遺構実測図(4)  
中ノ迫遺跡 SI 3



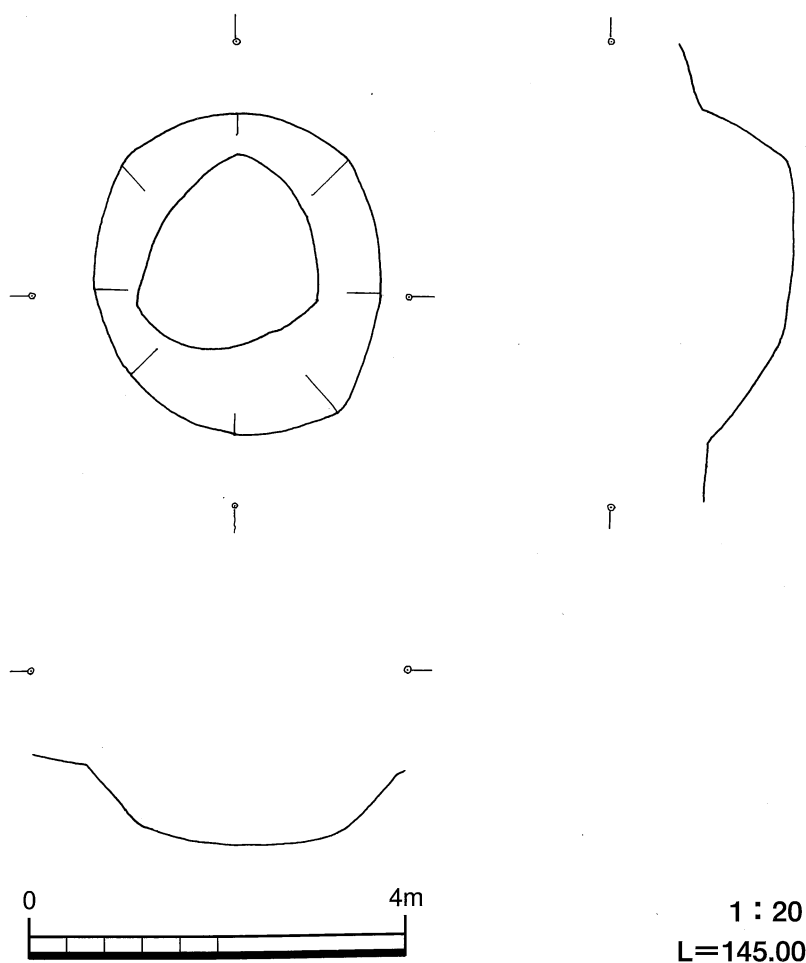
第9図 集石遺構実測図(5)

中ノ迫遺跡 SI 4



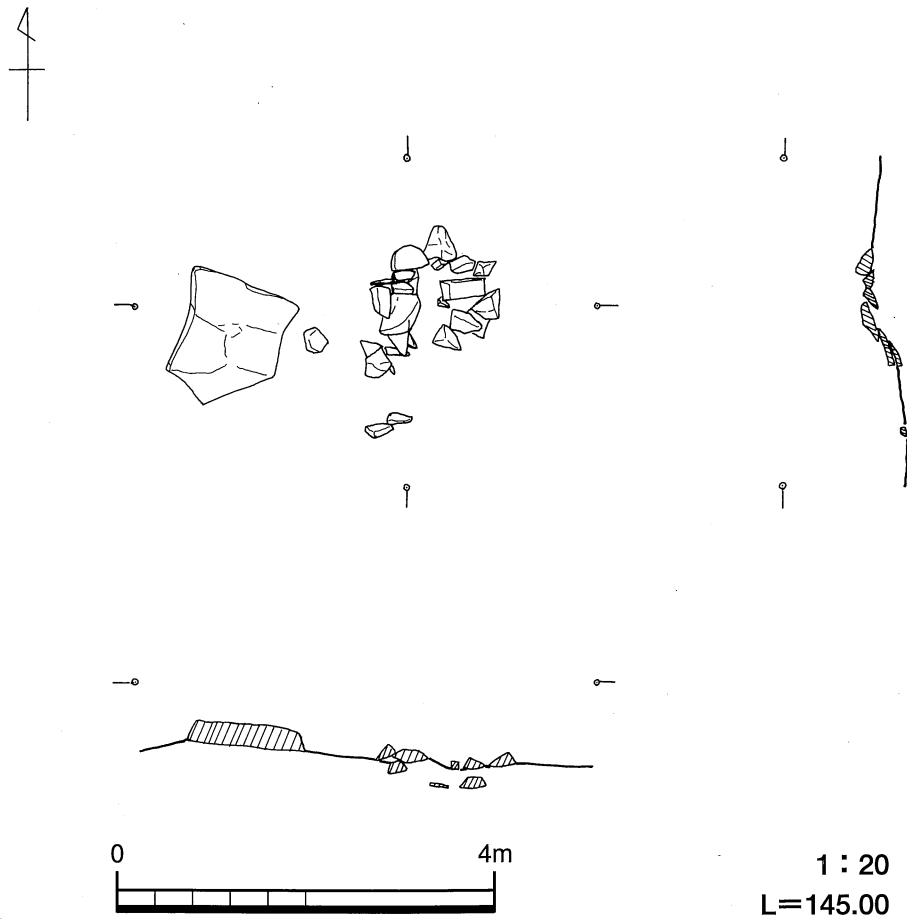
第10図 集石遺構実測図(6)

中ノ迫遺跡 SI 4(完掘)



第11図 集石遺構実測図(7)

中ノ迫遺跡 SI 5







## 南郷町文化財調査報告書

平成11年3月12日

編集・発行



宮崎県南郷町教育委員会  
南那珂郡南郷町大字中村乙7051番地25

印刷



株式会社 宮崎南印刷